

報道関係者各位

2021年9月27日
山形県保険医協会

子ども医療費助成 18歳まで広がるも山形市など都市部に遅れ 高校生に生じる医療格差

山形県保険医協会は、県内市町村に対し、今年7月現在の子ども医療費助成制度について調査を行った。

今年4月から村山市で入院のみ、最上町では通院・入院とも18歳年度末まで無料となった。18歳年度末まで何らかの医療費助成を行っているのは25自治体となり、県内自治体の7割を超えた。金山町、真室川町、鮭川村、戸沢村では、これまで16～18歳は償還払いだったが、今年4月から現物給付に変更となった。

今年9月7日に厚生労働省が発表した令和2年度「乳幼児等に係る医療費の援助についての調査」では、市区町村では1,741市区町村すべてが医療費に対する援助を実施していた。対象年齢は「15歳年度末（中学生まで）」がもっとも多く、通院873市区町村、入院895市区町村。ついで「18歳年度末」が多く、通院733市区町村、入院799市区町村という結果だった。

山形県でも2016年にすべての県内市町村で15歳年度末まで医療費無料化が達成された後、毎年子ども医療費助成の拡充が進んでいるが、山形市など都市部ではなかなか進まない現状がある。

山形県保険医協会が調査した2020年度学校健診後治療調査では、学校健診で要受診となった子どもの約4割が未受診のまま放置されている実態が浮かび上がった。特に高校生の未受診が顕著であった。コロナ禍もあり、受診が必要と分かっても感染を恐れて受診を控えたり、経済的な負担があればますます医療機関への足が遠のく。高等学校は都市部に集中し多くの市町村から通学しているため、クラスメートであっても住んでいる市町村によって医療費の自己負担の有無が生じ、不公平感がある。

子どもは経済的な影響を受けず無料で医療を受けられるように、本来は国の制度とするべきだが、自治体でも助成制度を広げるよう、協会では今後も国、山形県、県内市町村に要請を行っていく。

【調査の目的と調査方法、回答率】

県内市町村の子ども医療費助成制度の実情を把握し、今後の施策の発信を目的に調査を行った。

調査対象は県内35市町村とし、郵送方式で2021年7月1日（木）～7月30日（金）を調査期間とした。

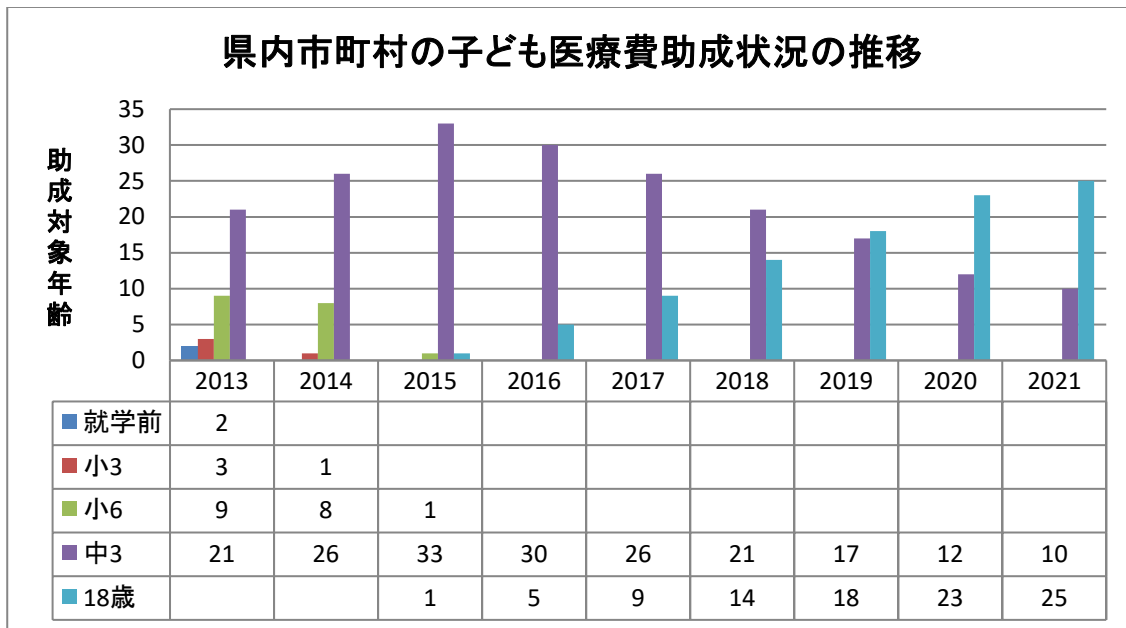
回答数は合計35件。回答率は100%。

【表1】県内市町村の子ども医療費助成事業（令和3年7月1日現在）

自治体名	対象者(特に記載がない場合は現物給付)		入院時食事療養費	備考
	通院・入院 (0歳～中3)	通院・入院 (高校生)		
山形市	○		対象外	
米沢市	○	○	対象外	
鶴岡市	○		対象外	
酒田市	○		対象外	
新庄市	○		対象外	
寒河江市	○	○	対象外	
上山市	○		対象外	
村山市	○	○(入院のみ) (償還払い)	対象外	令和3年4月～
長井市	○		対象外	
天童市	○	○	対象外	
東根市	○	○	対象外	
尾花沢市	○	○	対象外	
南陽市	○		対象外	
山辺町	○		対象外	
中山町	○	○	対象外	
河北町	○	○	対象(償還払い)	
西川町	○	○	対象外	
朝日町	○	○	対象外	
大江町	○	○	対象外	
大石田町	○	○	対象外	
金山町	○	○(償還払い→ 現物給付)	対象外	令和3年4月～
最上町	○	○	対象外	令和3年4月～
舟形町	○	○(償還払い)	対象外	
真室川町	○	○(償還払い→ 現物給付)	対象外	令和3年4月～
大蔵村	○	○	対象外	
鮭川村	○	○(償還払い→ 現物給付)	対象外	令和3年4月～
戸沢村	○	○(償還払い→ 現物給付)	対象外	令和3年4月～
高畠町	○	○	対象外	
川西町	○	○	対象外	
小国町	○	○	対象外	
白鷹町	○	○	対象外	
飯豊町	○	○	対象(償還払い)	
三川町	○		対象外	
庄内町	○		対象(償還払い)	
遊佐町	○	○	対象外	
○計	35	25	対象：3	

注：全自治体で所得制限なし、自己負担なし

【表2】 県内市町村の子ども医療費助成状況の推移



お問い合わせ先 山形県保険医協会
 〒990-0043 山形市本町 2-1-2 フコク生命ビル 2F
 TEL 023 (642) 2838 FAX 023 (642) 2839
 (担当：高橋 真知子)

山形県保険医協会のご紹介

山形県保険医協会は、県内市町村で保険診療を担っている保険医（医師・歯科医師）の団体です。山形県内の保険医 860 名が加入し（2021 年 8 月現在）、県民医療向上のため活動しています。（理事長 中島幸裕／至誠堂総合病院 理事長）